

申請者	住所	
	氏名	

標準量による所要数量計算書

耕作面積	水田	㎡
------	----	---

水田			
作物名	① 1,000㎡当たり 標準量	② 作付面積	所要数量 ①×②/1,000
表 作	水稻・麦	14 ℓ	㎡ ℓ
	飼料作物	15	
	たばこ	17	
	さつまいも・そ採	12	
裏 作	水稻・麦	14	
	飼料作物	15	
	たばこ	17	
	さつまいも・そ採	12	
水田所要数量計 (A)			ℓ

耕作面積	畑地	㎡
------	----	---

畑地			
作物名	① 1,000㎡当たり 標準量	② 作付面積	所要数量 ①×②/1,000
表 作	陸稲・麦	12 ℓ	㎡ ℓ
	飼料作物	15	
	たばこ	16	
	さつまいも・そ採	9	
裏 作	陸稲・麦	12	
	飼料作物	15	
	たばこ	16	
	さつまいも・そ採	9	
畑地所要数量計 (B)			ℓ
総所要数量 (A)+(B)			ℓ

- | 注意事項  |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農業耕うん機等を使用する者が免税証の交付を受ける場合は、この計算書を提出してください。</li> <li>2. 耕作面積については、市町村長の発行書する証明を添付してください。ただし、免税軽油使用者証の交付申請書に添付した場合は必要ありません。</li> <li>3. 同一の農地に年3回以上作付する場合は、空欄に記入してください。</li> <li>4. この計算書により算定した所要数量に不足を生じた場合は、別途、所要数量算定の基礎を明確にして、不足量を追加申請することができます。</li> <li>5. 所要数量は、小数点以下を切り捨ててください。</li> </ol> |

当様式は、農業用耕うん機等に供する場合で、かつ年間交付申請数量が**1,500ℓを超えない範囲**で免税証の申請を行う場合、使用することができます。1,500ℓを超える場合は、免税軽油所要数量算出基礎（別紙様式5号）を使用してください。

申請者	住所	宮崎市橋通東7丁目8-9
	氏名	農事組合法人 ○○畜産 代表 県税 次郎

記入例

標準量による所要数量計算書

耕作面積		水田	20,000 m <sup>2</sup>	
水田				
作物名	① 1,000m <sup>2</sup> 当たり標準量	② 作付面積	所要数量 ①×②/1,000	
表作	水稻・麦	14ℓ	10,000 m <sup>2</sup>	140 ℓ
	飼料作物	15		
	たばこ	17		
	さつまいも・そ採	12	10,000	120
裏作	水稻・麦	14		
	飼料作物	15	10,000	150
	たばこ	17		
	さつまいも・そ採	12		
水田所要数量計 (A)			410 ℓ	

耕作面積		畑地	25,000 m <sup>2</sup>		
畑地					
作物名	① 1,000m <sup>2</sup> 当たり標準量	② 作付面積	所要数量 ①×②/1,000		
表作	陸稲・麦	12ℓ			
	飼料作物	15	25,000	375	
	たばこ	16			
	さつまいも・そ採	9			
裏作	陸稲・麦	12			
	飼料作物	15	25,000	375	
	たばこ	16			
	さつまいも・そ採	9			
3作目飼料作物			15	10,000	150
畑地所要数量計 (B)			900 ℓ		
総所要数量 (A)+(B)			1,310 ℓ		

- 注意事項
1. 農業耕うん機等を使用する者が免税証の交付を受ける場合は、この計算書を提出してください。
  2. 耕作面積については、市町村長の発行書する証明を添付してください。ただし、免税軽油使用者証の交付申請書に添付した場合は必要ありません。
  3. 同一の農地に年3回以上作付する場合は、空欄に記入してください。
  4. この計算書により算定した所要数量に不足を生じた場合は、別途、所要数量算定の基礎を明確にして、不足量を追加申請することができます。
  5. 所要数量は、小数点以下を切り捨ててください。

所要数量は小数点以下を切り捨ててください。

年間で交付申請できる免税証の数量になりますが、申請数量が**1,500ℓ**を超える場合は、免税軽油所要数量算出基礎（別紙様式5号）を使用してください。